

やすかわかめたるう

金剛砂王 安川亀太郎の功績



安川亀太郎翁銅像

金剛砂王 安川亀太郎

旧穴虫村(香芝市西穴虫)の人。安政4(1857)年12月28日、船木家直七の次男として生まれる。明治13(1881)年、24才の頃、同地安川家の弥十郎の孫、テツの婿養子となる。早くから金剛砂の採掘と販売に先見の明があった人物。

「安川亀太郎翁銅像」(現在は廃棄されている)台石の銅板銘及び「安川亀太郎翁顕彰ノ碑」に詳しく、その人柄や経営手腕によって金剛砂を全国に広めた功績で同業者から「金剛砂王」と称えて呼ばれていた旨が記されている。大正14(1925)年1月26日、69才で没した。直接の家系は存続していないが、実家の船木家は現在も金剛砂業を営まれている。

「安川亀太郎翁銅像」

昭和4(1929)年、現在の国道165号線から五月ヶ丘に進入する入口付近に建立された。当初は立像であったが、戦時中に供出。戦後、あらためて胸像が建立されるが、台石は当初のものを再利用されていた。五月ヶ丘の開発に伴って、進入路を確保するため、真善寺に移される。しかし、風雨により朽ちていたこともあり、移動後間もなく、同寺境内の井戸に埋納された。

現在、井戸跡の上には、昭和43(1968)年7月、地元有志により建立された記念碑がある。

安川亀太郎翁銅像 台石銅板銘

銅板(正面)

安川亀太郎翁像 奈良県知事笹井幸一郎書

銅板(左側面)

故安川亀太郎翁生本村船木家襲安川氏資性温厚篤実多容衆
達観金剛砂有望而從採掘販売業東奔西走苦心經營博我国特産
品名声聞地方財界融和其功績豈不甚大哉干今汲其流者幾千人
呼称金剛砂王享年六十有九為謝恩有志相謀卜此地永貽其德後
世焉

昭和四年十二月中旬

從六位勲六等 松村鶴次郎書



真善寺境内 記念碑

記念碑裏面銘文

昭和四十三年七月吉日

地元有志一同 建之

「安川亀太郎翁顕彰ノ碑」

西穴虫集落の東端、旧塚街道から国道165線に出る近くに位置する。昭和60年(1985)年3月、光徳研磨材工業所、下村佳右氏によって建立された。

石材の規模

正面 底部155.5cm、高さ177.0cm(最大)、158.0cm(最小)

裏面 短冊形に彫りくぼめた中に銘がある。縦95.0cm、横24.5cm



(裏面)

昭和乙丑年三月吉日 光徳研磨材工業所
建立者 撰文 謹書 下村佳右
下村季正

*金剛砂

金剛砂はザクロ石のことで、「石切場火山石(シソ輝石ザクロ石黒雲母デイサイト)」が風化流出して、低地に堆積した砂れきの中に含まれています。鉄分が多く硬度が6.5~7.5(ダイヤモンドが10)と非常に硬いことから、奈良時代以降、主に研磨材として利用されてきました。明治時代末から大正時代初めごろ、研磨布紙(サンドペーパー)の産業が始まり、戦時中は軍需物資となって、金剛砂の生産も飛躍的に増大しました。

参考文献

船木利郎 1994 「地場産業の歩み・金剛砂」 『ふたかみ2—1992(平成4)年度香芝市二上山博物館年報・紀要一』 二上山博物館
その他
『わたしたちの郷土香芝市指導計画』、『二上村史』、『香芝町史』等

次回の展覧会予定 秋季企画展

「香芝市指定文化財—開館15周年記念—」

会期：10月6日(土)~11月25日(日)

開館15周年記念第2弾として、普段接することのない指定文化財を一堂に観覧できる機会を設け、郷土の歴史や文化財に興味関心を深めていただくことを目的に開催します。指定文化財が勢揃いするのは初めての試みです。

展示解説シート No.3

「金剛砂王 安川亀太郎の功績」

平成19年6月30日発行

香芝市二上山博物館

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

TEL.0745-77-1700 FAX.0745-77-1601

(表面)

安川亀太郎翁顕彰ノ碑

佳右

功績をよほに伝へむぎくろ石に
光添へたる翁がおもかけ

翁 安政四年此処穴虫村ニ生ラ享ク 資性温厚篤実ニシテ衆望ヲ聚ムルアリ 明治ノ文明開化シ壯年ニ至ルヤ古来ノ地ニ特産トシテ採掘セラレタリシ金剛砂ヲノ穀智ヲ投ゼラレ抜群ノ経営手腕ヲモツテ近代的地場産業トシテ育成セラル ソノ採掘ナラビ販売等一東奔西走暹日ナカリキトイフ マタ以ツテ衆民ノ生業ノ安定ト繁栄ヲ図ラレタリキ ソノ功マコトニ多トスベキナリ ソノ間ノ艱難辛苦筆舌ニ尽シ難キモノアリシナラム

金剛砂ハ俗ニコレヲ石種石ト称シ玉石或イハ硝子材トドラ磨キ来タリシコト古記アリ 二上山周辺ニ産スル貴重ノ資源ナリ 現今コノ地ニ研磨材産業ナオ翁ノ偉業遺徳ニ連ナリテ盛行セラレ 全国ニ周ク ソノ有名ヲ馳スルハ慶賀ノ極ミナリ

人 翁ヲ金剛砂王ト称ヘ 曾 ヲノ胸像ヲ大字穴虫ニ建立セラレタルコトアリ 事アリテ今ヲ尊像ヲ仰ギ得ズ 再建ノ業ナオ未ダシト聞ケハ斯業ニ力カハリ ソノ恩顧ヲ日々厚キ感謝ノ念ヲモツテ受クル汪生ノ温容ヲ俾フニ氣持テヤミ難クヨニ思ヒ立チテ 翁ヘノ些カノ報恩ヲモナサムトテ拙文ヲ草シ文言ノ十分ナラザラ恐レツツモ 翁顕彰ノ碑トナサムトス